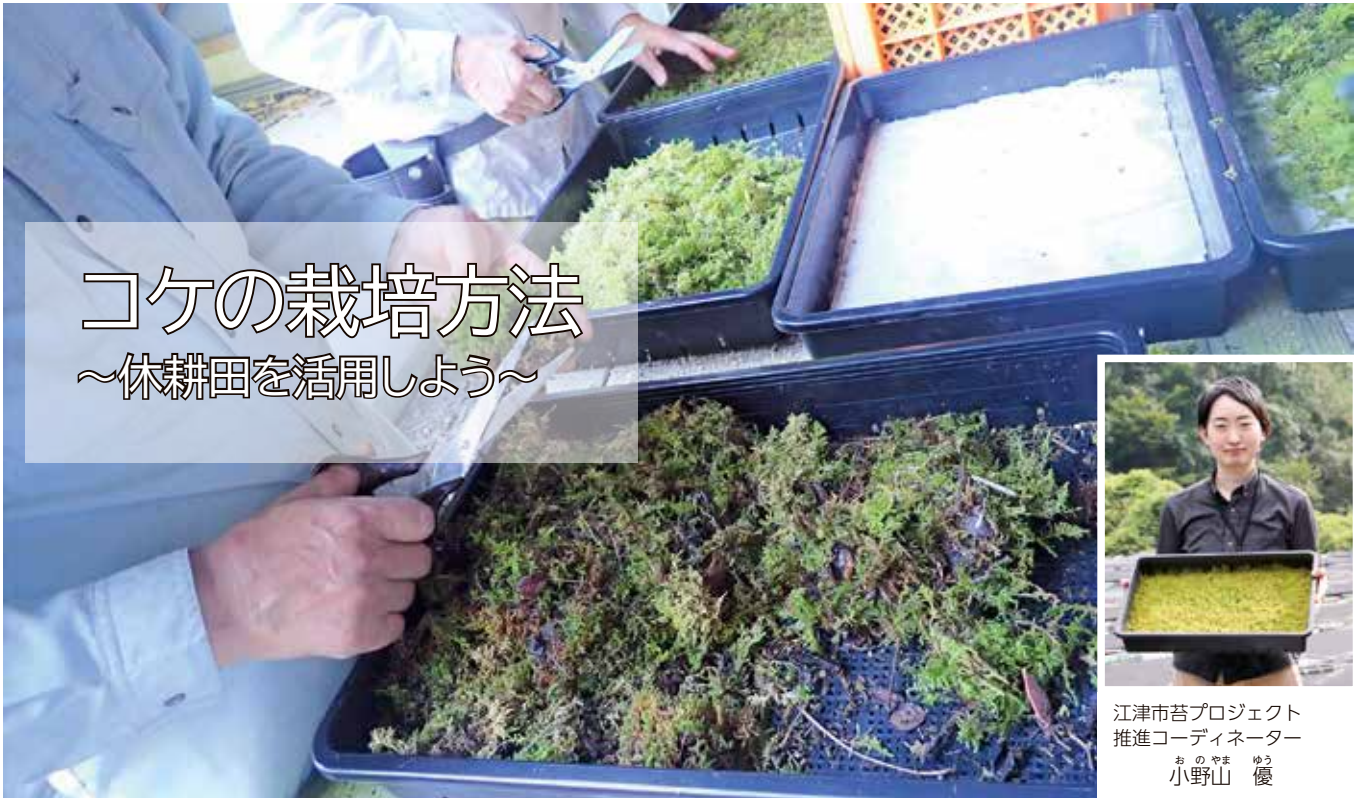




地域おこし協力隊通信 vol. 7

農林水産課農業振興係

Tel 0855 (52) 7493



コケの栽培方法 ～休耕田を活用しよう～



江津市苔プロジェクト
推進コーディネーター
おのやま ゆう
小野山 優

基本的なコケの栽培方法

重たいものを運んだり、複雑なことをするような難しい作業はありません。育苗箱に不織布を敷き、種コケを撒いたら完成です。遮光ネットなどで日陰を作ること、コケはよく育ちます。

コケが好む環境を作ろう

朝に3〜4時間ほど日の光が当たり、朝露が降りる場所がハイゴケの栽培に向いています。防風対策や保水の仕組みを作ったり、遮光の仕方を変えて、自生している環境と同じ条件に近づけることで元気に育ちます。栽培に取り組む場所によって環境が違うため、栽培は一筋縄ではないのです。

休耕田を活用しよう

育苗箱が置けるスペースさえあれば、1枚から栽培を始めることができます。コケ栽培をして休耕田を活用し、地域の土地を守ってみるのはいかがでしょうか。

休耕田を活用したい・コケ栽培に興味があると思った人は、ぜひ一度、農林水産課または苔プロジェクト推進コーディネーター・小野山までご相談ください。

栽培苔の良いところ

昨今のコケブームにより、コケの乱獲が問題視される中、持続可能な栽培コケに注目が集まっています。需要が増えているテラリウムに適したコケを育てるため、江津苔プロジェクトでは室内での試験栽培を始めています。

LEDライトを照らすことで、管理のしやすいコケを生産することが期待されています。実験の一部を市役所本庁舎1階展示スペースで公開しています。



①



②



③

①コケの種は成長したコケそのもの。育苗箱全に均等に蒔いていきます。体の一部からクローンを作り出すことができる特性を活かして栽培します。②乾燥しやすい土地で栽培をする時は、不織布の下にウッドチップや培地を敷き、水分が逃げないように工夫することも。③不織布を敷いておくと、コケが成長する過程で不織布に活着し、商品として使い勝手の良い1枚のシートにすることができます。